

各業務別の課題と目標（第1層・第2層共通）

	区域・圏域	事業計画		
		項目	現状の課題	活動目標（具体的内容・スケジュール等）
I ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築	区域全体	1. 第1層協議体の開催	高齢者の生活支援や介護予防の場について定期的に情報共有や意見交換を行う必要がある。	西成区地域福祉計画推進チーム会議にて年2回以上開催し、地域の現状やニーズ、課題、事業の取組み状況情報などの情報共有や意見交換をおこなう。
	区域全体	2. ニーズと地域資源の把握	区内のニーズや資源について把握する必要がある。	各種会議体や活動に参加し、活動者や参加者、関係者との情報共有や意見交換を通じてニーズや資源の把握を進める。
	区域全体	3. ネットワークの構築	事業推進のため、地域住民や関係機関、団体などとの関係づくりを広げる必要がある。	各種会議体や活動への参加、ニーズや資源の把握、情報共有、意見交換などを通じ、関係づくりを広げる。
	西成区圏域	1. 第2層協議体の開催	高齢者の生活支援や介護予防の場について定期的に情報共有や意見交換を行う必要がある。	地域の現状やニーズ、課題、事業の取組み状況などの情報共有や意見交換を行う。
	西成区圏域	2. ニーズと地域資源の把握	区内のニーズや資源について把握する必要がある。	各種協議体や活動に参加し、活動者や参加者、関係者との情報共有や意見交換を通じてニーズや資源の把握を進める。
	西成区圏域	3. ネットワークの構築	事業推進のため、地域住民や関係機関、団体などとの関係づくりを広げる必要がある。	各種協議体や活動への参加、ニーズや資源の把握、情報共有、意見交換などを通じ、関係づくりを広げる。
	玉出圏域	1. 第2層協議体の開催	高齢者の生活支援や介護予防の場について定期的に情報共有や意見交換を行う必要がある。	地域の現状やニーズ、課題、事業の取組み状況情報などの情報共有や意見交換を行う。
	玉出圏域	2. ニーズと地域資源の把握	区内のニーズや資源について把握する必要がある。	各種会議体や活動に参加し、活動者や参加者、関係者との情報共有や意見交換を通じてニーズや資源の把握を進める。
	玉出圏域	3. ネットワークの構築	事業推進のため、地域住民や関係機関、団体などとの関係づくりを広げる必要がある。	各種会議体や活動への参加、ニーズや資源の把握、情報共有、意見交換などを通じ、関係づくりを広げる。
	北西部圏域	1. 第2層協議体の開催	高齢者の生活支援や介護予防の場について定期的に情報共有や意見交換を行う必要がある。	地域の現状やニーズ、課題、事業の取組み状況情報などの情報共有や意見交換を行う。
	北西部圏域	2. ニーズと地域資源の把握	区内のニーズや資源について把握する必要がある。	各種会議体や活動に参加し、活動者や参加者、関係者との情報共有や意見交換を通じてニーズや資源の把握を進める。
	北西部圏域	3. ネットワークの構築	事業推進のため、地域住民や関係機関、団体などとの関係づくりを広げる必要がある。	各種会議体や活動への参加、ニーズや資源の把握、情報共有、意見交換などを通じ、関係づくりを広げる。
	西成区東部圏域	1. 第2層協議会の開催	高齢者の生活支援や介護予防の場について定期的に情報共有や意見交換を行う必要がある。	地域の現状やニーズ、課題、事業の取組み状況情報などの情報共有や意見交換を行う。
	西成区東部圏域	2. ニーズの地域資源の把握	区内のニーズや資源について把握する必要がある。	各種会議体や活動に参加し、活動者の参加者、関係者との情報共有や意見交換を通してニーズや資源の把握を行う。
	西成区東部圏域	3. ネットワークの構築	事業推進の為、地域住民や関係機関、団体などとの関係づくりを広げる必要がある。	各種会議体や活動への参加、ニーズの資源の把握、情報共有、意見交換などを通じ、環形づくりを広げる。

各業務別の課題と目標（第1層・第2層共通）

	区域・圏域	事業計画		
		項目	現状の課題	活動目標（具体的内容・スケジュール等）
II 地域資源・サービスの開発等	区域全体	B. 既存資源への継続支援	・生活支援に関する資源が少ない。 ・食事や掃除、同行等のニーズはあるが、あまり対応できていない。	B-1. 西成まちの助っ人サービス
	区域全体	C. その他講座開催など	・関係機関や企業と連携し、新たな参加者や活動づくりを進める必要がある。 ・ポッチャのニーズが高まっているため上げつつ、活動立上げ、自主運営ができるよう検討する必要がある。 ・会館以外の拠点を増やすきっかけ作りが必要。 ・eスポーツ等新たな介護予防のツールの周知を進める必要がある。	C-1. ポッチャ大会（区域全体） C-2. ポッチャサポーター養成講座（区域全体） C-3. 健康づくりひろげる講座（区域全体） C-4. シニアライフ講座（区域全体） C-5. eスポーツ体験講座（区域全体）
	西成区圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充	・他地域の住民とつながる場が少ない。 ・既存の活動について、新しい取り組みを実施し、より介護予防や参加者の関係づくりにつなげることが必要。 ・施設や事業所主体の活動場所へeスポーツを周知、推進	A-1. 西成市民館百歳体操（萩之茶屋地域） A-2. そんぼの家 s 天下茶屋eスポーツ（橋地域） A-3. 岸里ポッチャの会（岸里地域）
	西成区圏域	B. 既存資源への継続支援	・継続して活動している場所について、周知や運営面での支援が必要。 ・ポッチャが広がった活動場所について、助成金の活動案内や用具の貸出しなどの支援が必要。	B-1. 弘治地域百歳体操（弘治地域） B-2. たちばな和のつどい（橋地域） B-3. 山口文化センター百歳体操（橋地域） B-4. 岸里女性会百歳体操（岸里地域） B-5. 岸里百歳体操（岸里地域） B-6. 岸里ポッチャ（岸里地域）
	玉出圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充	・新たな介護予防のツールとしてeスポーツを推進。周知をしていく必要がある。 ・地域貢献の活動について支援が必要。 ・ポッチャのニーズが高まってきているが、実施している場所が少ない。	A-1. やまき苑（玉出地域） A-2. 千本ポッチャの会（千本地域） A-3. めぐみeスポーツ（千本地域） A-4. 南津守第1住宅集いの場（南津守地域）
	玉出圏域	B. 既存の資源への継続支援	・継続して活動している場所について、周知や運営のフォローが必要。	B-1. やまき苑百歳体操（玉出地域） B-2. くすの木百歳体操（玉出地域） B-3. 千本百歳体操（千本地域） B-4. 川真田栄光会館百歳体操（千本地域） B-5. めぐみ百歳体操（千本地域） B-6. 溝口医院百歳体操（南津守地域） B-7. 溝口医院ポッチャ（南津守地域） B-8. 南津守なかよし百歳体操（南津守地域） B-9. 南津守百歳体操（南津守地域） B-10. あゆみ工房（南津守地域）
	玉出圏域	C. その他講座開催など	・高齢者だけでなく、子育て世代、地域の企業や団体に興味・関心を持ってもらい、居場所づくりに繋げることのできるような講座の開催が必要。	C-1. ポッチャ講座（千本地域） C-2. 健康講座（南津守地域）
	北西部圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充	・高齢者の健康を保つための取り組みとしていきいき百歳体操のニーズがあり区としても推進するねらいがある ・地域貢献の活動について支援が必要 ・ポッチャのニーズがあり開催場所が増えている ・住民の高齢化により歩行や移動に不安が高まっており、対策が必要。 ・既存の活動について、新しい取り組みを取り入れることで、より介護予防や参加者の関係づくりにつなげることが必要。	A-1. ライフカーサ・ポッチャ（梅南地域） A-2. 津守百歳体操（津守地域） A-3. 北津守百歳体操（北津守地域） A-4. コミュニティカフェ北津守（北津守地域） A-5. 有田宅居場所（北津守地域）
	北西部圏域	B. 既存の資源への継続支援	・継続して活動している場所について、周知や運営面での支援が必要。	B-1. 長橋ポッチャ（長橋地域） B-2. スマイル（松之宮地域） B-3. きらきらシルバー（松之宮地域） B-4. みんな食堂ソレイユ（松之宮地域） B-5. 梅南おとこまえ百歳体操（梅南地域） B-6. 梅南いきいき百歳体操（梅南地域） B-7. 梅南ポッチャ（梅南地域） B-8. カーサガーデンカフェ（梅南地域） B-9. 北津守ウォーキングクラブ（北津守地域）
	西成区東部圏域	A. 新規立ち上げ・既存資源の拡充	・ポッチャと百歳体操の実施している所が多いが他のニーズに対応する居場所となる資源が少ない。百歳体操以外の運動にニーズが高まっているが居場所が少ない。 ・地域活動に支援が必要 ・ニーズのある活動について活動できる場所が限られる。 ・他地域の住民との繋がりが少ない	A-1. 天水湯百歳体操（今宮地域） A-2. ええとこあんでい（今宮地域） A-3. みどりカフェ（山王地域） A-4. 山王カラオケ（山王地域） A-5. 天下茶屋リズム体操（天下茶屋地域） A-6. レコードを聴く会（天下茶屋地域）
西成区東部地域	B. 既存の支援への継続支援	・継続して活動している場所について周知や運営面などの支援が必要。	B-1. 今宮ポッチャ（今宮地域） B-2. よってこ（今宮地域） B-3. 山王ポッチャクラブ（山王地域） B-4. 西栄寺百歳体操（天下茶屋地域） B-5. オリーブの会（天下茶屋地域）	

各業務別の課題と目標（第1層・第2層共通）

	区域・圏域	事業計画		
		項目	現状の課題	活動目標（具体的内容・スケジュール等）
Ⅲ 活動の場の開発	西成区圏域	スーパー休憩スペースの活用	・普段通いの場に出てこない高齢者が気軽に立ち寄れる場所として活用を検討する必要がある。	・まずは社協主体で講座や社協の案内など活用できるように調整する。
	西成区圏域	そんぼの家S天下茶屋の活用	・社会貢献として場所を使ってほしい意向がある。	・現在ボードゲームカフェで活用中の場へeスポーツの活動も足してもらえよう調整する。
	西成区圏域	ファーマシィ薬局	・社会貢献として健康相談会を実施しているが、周知に課題があり、開催できない月もある。 ・地域住民と繋がりたい意向がある。	・居場所として活用できないか担当者と検討する。
	玉出圏域	南津守第1住宅集会所の活用	・住宅の住民にとっては利便性が高いが、集いの場としての活用が止まっている。	・住民が参加しやすい活動ができる場所としての活用を検討する。
	玉出圏域	やまき苑の活用	・百歳体操は再開しているが、それ以外の活動がコロナ禍以降再開していない。	・百歳体操以外の再開支援。 ・eスポーツ等の新たな活動の提案。
	北西部圏域	有田氏宅の1階の活用	・親が経営していた1階の会社あとを改装して地域に活用してほしい意向があるが、改装の完了には至っていない。	・喫茶・体操・相談など地域の居場所として使えるよう調整する。 ・7月に和式トイレを洋式トイレに改装予定。
	北西部圏域	特別養護老人ホームライフ・カーサの活用	・社会貢献として場所を使ってほしい意向があり、百歳体操をおこなっているほか、eスポーツの活用も検討している	・無理なく取り組めるよう検討が必要。eスポーツ体験会等のイベント開催を検討する。
	西成区東部圏域	天下茶屋老人憩いの家の活用	・天下茶屋老人憩いの家の活用が少ない。 ・男性の居場所が少ないため、活用を考えている地域住民がいる。	・周知や活用方法について担当者と打合せをする。 ・音楽に関する活動を検討しているため、調整を図る。
	西成区東部圏域	天下茶屋健康広場の活用	・男性の居場所が少ない ・広場を活用したいという地域住民の意向はあるが実現に至っていない。	・屋外でもできる活動の紹介をする。
	西成区東部圏域	銭湯の活用	・集会所や老人憩いの家以外の居場所が少ない ・社会貢献の場所として使って欲しいと意向があり、百歳体操を行っている。	・活動が出来る場として、百歳体操以外にも活用を調整する。
西成区東部圏域	山王社会福祉会館の活用	・近くに買い物できる場所が少なく、課題と感じている住民もいる。	・コロナ禍で継続に至らなかったマルシェの活動場所として検討する。	
Ⅳ サービスの実施情報の周知等	区域全体	1. 様々な機会を通じた情報周知	・地域での取り組みや生活支援体制整備事業の取り組みなどについて、さらに多くの住民や関係者に周知する必要がある。	・薬剤師会をはじめ関係機関と連携し周知を図る。 ・連絡会等での周知活動。 ・ほっとネットにしなり等のイベント参加。
	区域全体	2. 地域資源リスト・マップの更新・発行	・地域の居場所や助け合いを住民だけでなく関係機関にも周知する必要がある。 ・毎年度作成してきた地域資源リスト・マップについての需要があり、ケアマネや包括職員等の活用も増えている。	・地域の居場所や助け合い、相談先などを掲載している西成区暮らし・元気応援地域リスト及びマップの情報の更新やデザイン等の改善を図る。 ・紙媒体だけでなくホームページにも掲載する。 ・会議や情報提供時に活用し、周知を進める。
	西成区圏域	1. 様々な機会を通じた情報周知	・地域での取り組みや生活支援体制整備事業の取り組みなどについて、さらに多くの住民や関係者に周知する必要がある。	・薬剤師会をはじめ関係機関と連携し周知を図る。 ・地域での取り組みについて、チラシなど周知物を作成し周知に活用する。
	玉出圏域	1. 様々な機会を通じた情報周知	・地域での取り組みや生活支援体制整備事業の取り組みなどについて、さらに多くの住民や関係者に周知する必要がある。	・薬剤師会をはじめ関係機関と連携し周知を図る。 ・地域での取り組みについて、チラシなどの周知物を活用する。
	北西部圏域	1. 様々な機会を通じた情報周知	・地域での取り組みや生活支援体制整備事業の取り組みなどについて、さらに多くの住民や関係者に周知する必要がある。	・薬剤師会をはじめ関係機関と連携し周知を図る。 ・地域での取り組みについて、チラシなど周知物を作成し周知に活用する。
	西成区東部圏域	1. 様々な機会を通じた情報収集	・薬剤師会をはじめ関係機関と連携し周知を図る。 ・地域での取り組みについて、チラシなど周知物を作成し周知に活用する。	・薬剤師会をはじめ関係機関と連携し周知を図る。 ・地域での取り組みについて、チラシなど周知物を作成し周知に活用する。